

断熱に関する基準（KHKS 0802）の廃止について

高圧ガス部

1. はじめに

当該基準は、平成17年6月に改正され、約4年が経過しており、確認又は改正が必要となっているが、下記理由により廃止の方向で進めていきたい。

2. 当該基準制定の目的

高圧ガス設備等の保温・保冷施工を実施する場合における災害発生防止及び、それに付随する諸事項に重点を置き、各事業所において自主的に適切な保安対策を講ずる場合の規範とし詳細に示したものである。

3. 改正

昭和46年3月に制定された断熱に関する基準は、JIS A 9501 他の改正に伴い、これまで2回の改正を行ってきた。

- ・昭和46年3月 制定
- ・昭和55年4月 改正
- ・平成17年6月 改正

4. 廃止理由

本基準の内容は、JIS 規格内容を参考に、制定、改正されており、重複する内容も多々ある。

また、(社)石油学会発行【石油工業用プラントの保温・保冷の設計・施工指針】とも重複している。*詳細は別紙対照表を参照

更に、(社)日本保温保冷工業協会発行図書においても参考となる出版物が発行されている。

各事業者が、JIS 規格に従い、(社)石油学会発行図書及び(社)日本保温保冷工業協会発行図書を参考とすることで充分であると判断できる。

よって、今後の断熱に関する基準は、技術基準作成基本方針において、基準類は制定、改正又は確認の日から5年以内に改めて確認を行うこととなっているが、上記観点から、本 KHKS は廃止する方向としたい。

【一般社団法人日本保温保冷工業協会発行図書】

「参考図書」

① 保温 JIS 解説

JIS A 9501 保温保冷工事施工標準をはじめ保温保冷材料の JIS を集約

② 熱絶縁施工ハンドブック

保温保冷基礎知識から実際の施工までをまとめたもの（教育用テキスト）

③ 官公庁仕様書

国土交通省「公共建設工事標準仕様書」をはじめ、空調衛生工学会、東京都などが発行している仕様書の保温・保冷工事に関する部分のみ抜粋したもの

断熱に関する基準(対照表)

書籍名 項目	断熱に関する基準 (KHKS 0802)	石油工業用プラントの保 温・保冷の設計・施工指針	JIS規格
保温材	<ul style="list-style-type: none"> ・使用される保温材はJIS規格に合格したもの P2 ・保温材一般 P2 ・選定基準(別表 2-1)P6-8 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用される保温材はJIS規格に合格したもの P11 ・保温材の種類 P6 ・選定基準(付表1)P20-21 	JIS A 9504 (人造鉱物繊維保温材) JIS A 9510 (無機多孔質保温材) JIS A 9511 (発泡プラスチック保温材) JIS A 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
保冷材	<ul style="list-style-type: none"> ・使用される保冷材はJIS規格に合格したもの P11 ・保冷材一般 P11 ・選定基準(別表 2-3)P14-15 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用される保冷材はJIS規格に合格したもの P7 ・保冷材種類 P7 ・選定基準(付表2)P22-23 	JIS A 9504 (人造鉱物繊維保温材) JIS A 9511 (発泡プラスチック保温材)
外装材	<ul style="list-style-type: none"> ・使用条件に応じ、JIS規格に合格したもの P18 ・外装材一般 P18 ・選定基準(別表 2-5)P20-21 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計条件に応じて、JIS規格に合格したもの P7 ・外装材の種類 P7 ・選定基準(付表 3)P24-25 	JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯) JIS H 4000 (アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条)
防湿材	<ul style="list-style-type: none"> ・防湿剤の種類及びその特性 別表 2-7 P24 	<ul style="list-style-type: none"> ・防湿材の種類 P8 ・選定基準(付表 4)P26-27 	—

補助材 (補強材)	・補強材種類 P25	・緊縛材種類・選定基準・ 適用範囲 P9(詳細に記載)	—
接着剤	・接着剤種類 P25 ・接着剤の選定上の注意 点 P25	・接着剤種類 P10 ・接着剤の選定基準 P10、 28、29(詳細に記載)	—
工事の 注意点	・高圧ガス製造設備等の保 温保冷工事の設計及び施 工上の注意点 P27	・保温・保冷工事の施工上 の一般的注意事項 P12	JIS A 9501 (保温保冷工事施工標準)
バルブ・フ ランジ部	・保温保冷施工に対する配 慮 P44～46	・バルブ、フランジ部保温・ 保冷施工要領 P14、P17 付図 11～14	—
保温保冷 工事検査	・高圧ガス製造設備等の保 温保冷工事検査要領 P50	・検査一般 P18 付表7	JIS A 9501 (保温保冷工事施工標準)